



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

脱炭素社会への一歩は、  
より身近な羽毛から！



SDGs・SBT活動  
への取り組みについて



河田フェザー株式会社  
SDGs推進室  
2023年1月25日発表

1961年 大阪府東大阪市枚岡出身

1986年から2007年 株式会社赤福 元取締役

2008年から現在 河田フェザー 2012年エコランドの兼務

2007年 松井孫右衛門様の紙芝居を作成 活動開始

2011年 車いすde伊勢神宮参拝プロジェクトを結成

2012年 UMOUプロジェクト明和

2014年 UMOUプロジェクト三重 三重県全域にて羽毛募金

2015年 UMOUプロジェクトin山口 発足

2018年 UMOU災害支援プロジェクト伊勢の結成

2019年 車いすde熱田神宮参拝プロジェクトを結成

中小企業向けSBT・再エネ100%目標設定支援に採択（スコープ1、2）

2020年 OBENTOU PROJCT明和活動開始

中小企業SBT スコープ3完了 国際SBTへ登録しました。

2021年 車いすde参拝プロジェクト実行委員会（檀原神宮・春日大社）

2021年 KitchenProject伊勢活動開始

# 河田フェザー株式会社

## 1. 創業は1891年

(本店:名古屋、工場:三重県明和町)

## 2. 羽毛の素材メーカー

- ・国内外のと畜場から集荷した原毛を精製し、品質を安定化させ、高品質な精製羽毛を生産
- ・使用済み羽毛製品から羽毛を回収し、羽毛を洗淨・精製加工
- ・最大羽毛処理量9t/日

## 3. 世界No.1の技術力

世界で最もキレイで安心・安全の羽毛を供給  
羽毛は「無味無臭」  
「品質の河田」と羽毛業界で認知

掛けふとん用の羽毛



ダウンジャケット用の羽毛

破魔矢の矢部分



冒険家 三浦 雄一郎 氏  
株式会社ゴールドウイン様より



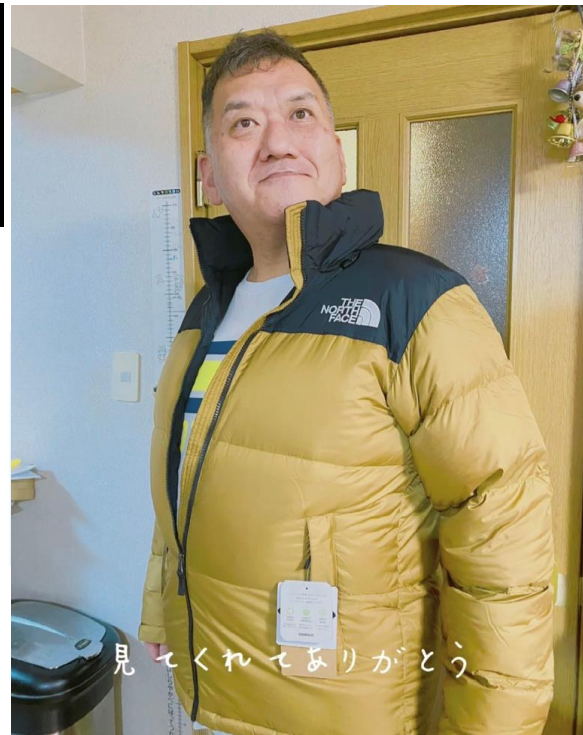
# 日本にダウンを紹介！

軽く・温かく・温度調整を自然と行う天然素材を使い健康と  
二酸化炭素削減のために、、、

- 1978年 ダウンジャケット試作
- 1979年 国内初、ダウンジャケットを生産販売し、  
国民に軽くて、暖かい新製品を紹介しました。
- 1980年 爆発的大ブーム
- 1985年 羽毛ふとん生産開始
- 1990年 名古屋から伊勢明和へ

たった2人でスタートした事業が今や5000人を超える共感者に！

2011年13枚から2020年には8万枚(約100t)  
の回収増加になりました。





厳寒のマウンテンスポーツには羽毛不滅に共感により  
240万人に伝えてもらいました。

グリーンダウンリサイクルプロジェクト（新毛）

年	枚数
2013	300,000
2014	100,000
2015	100,000
2016	200,000
2017	200,000
2018	200,000
2019	300,000
2020	200,000
2021	200,000
合計	1,800,000



グリーンダウン（再生ダウン）

年	枚数
2018	100,000
2019	200,000
2020	200,000
2021	100,000
合計	600,000





グース＝鶯鳥  
フォアグラと食肉





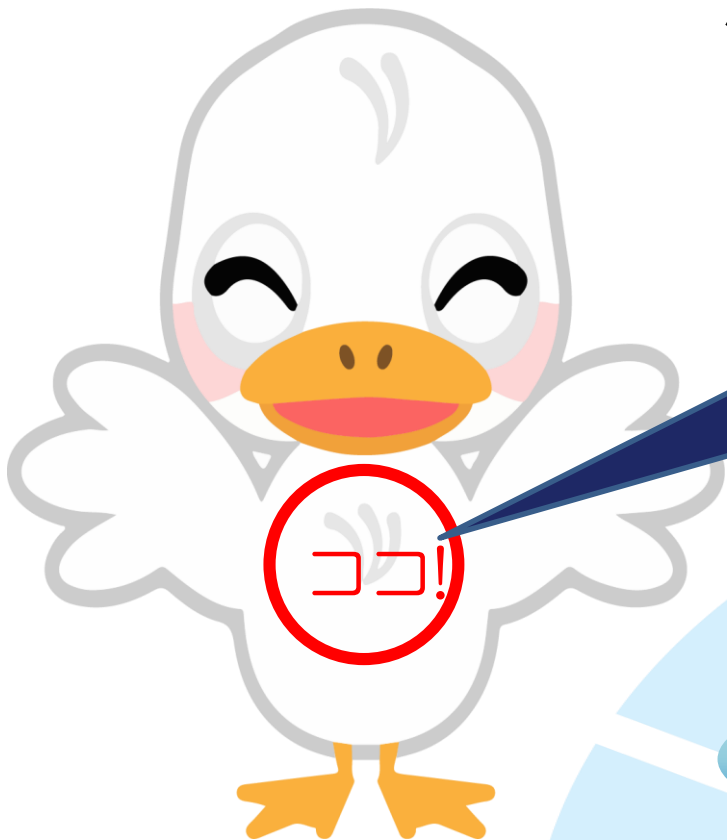
ダック＝鴨、家鴨  
鴨料理、北京ダック







水上または水辺で生活する鳥（水鳥）の  
胸元に生えている細かい毛のことです

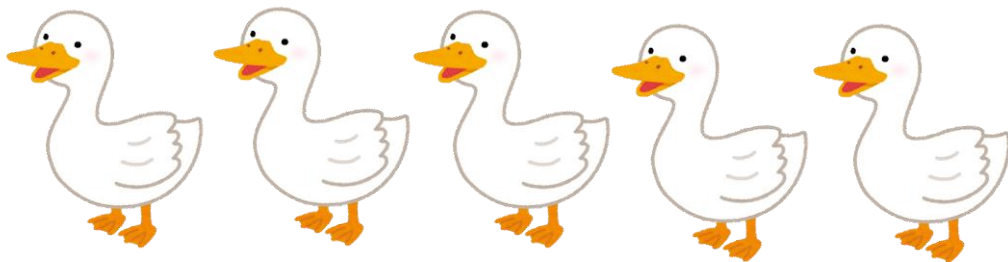
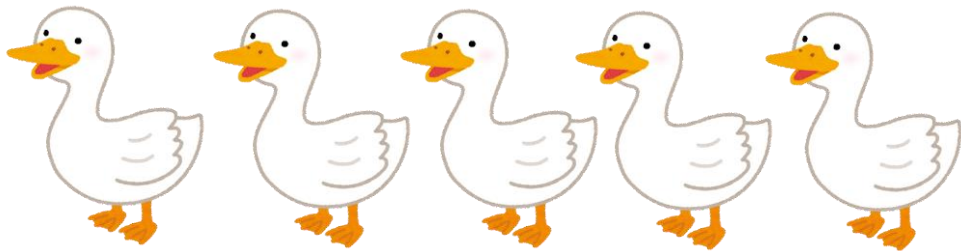


1羽から10gしか取れない





10羽以上必要!



ダウンジャケット



羽毛ふとん 1枚

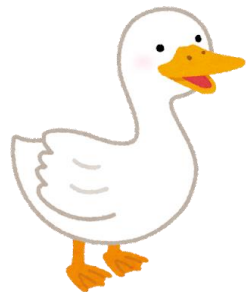




ダウン(羽毛)は、水鳥の食肉を生産するときに発生する副産物です。

もし羽毛ふとんやダウンジャケットに使用しなければ・・・

廃棄物及び焼却処分となり二酸化炭素が大量に排出されていました。



羽毛恐竜から進化  
したんだ

羽毛は、体温が空を  
飛ぶと上昇し、水面で  
は低下することへの  
温度調整のため

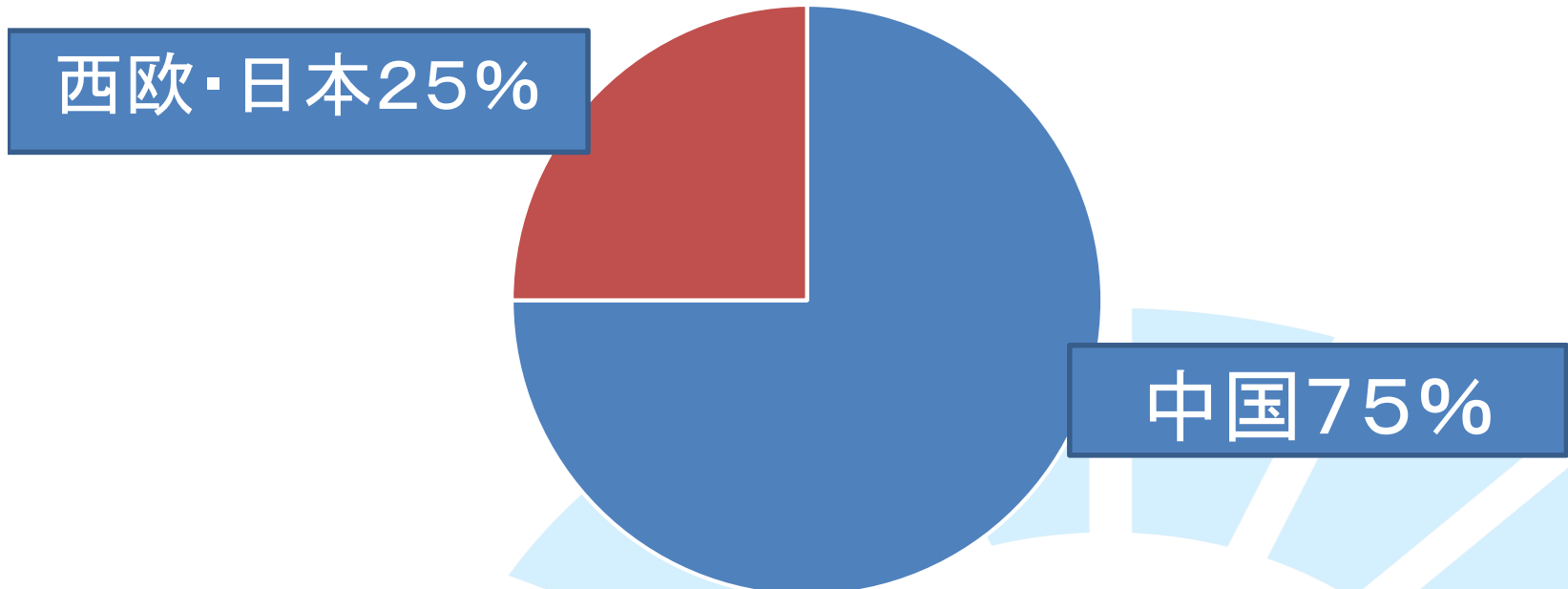


この水鳥の尊い生命の賜物を  
100年以上繰返し使用していこう！



# 水鳥食肉の消費

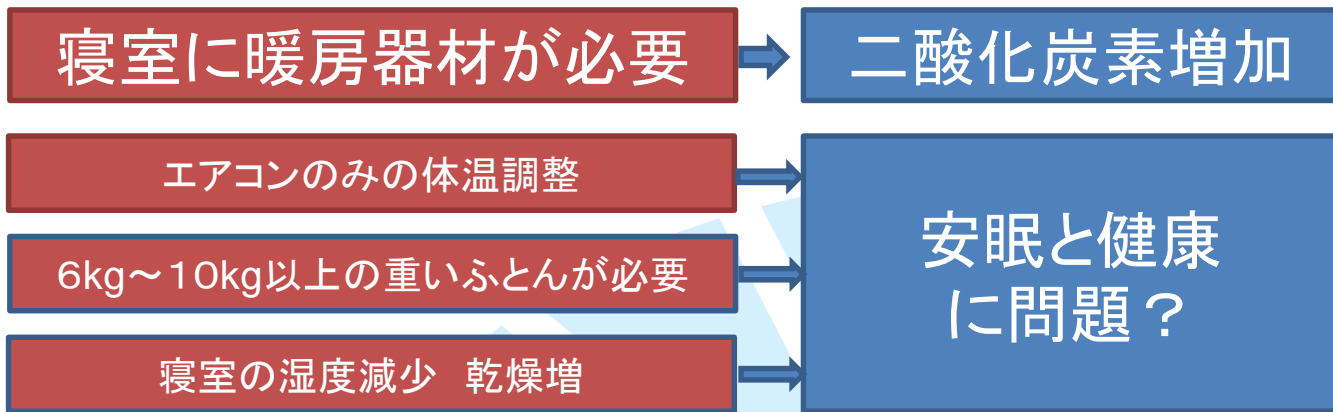
消費量



食肉をする国が羽毛を消費するとどうなるのかな？

# 食肉文化に乏しい国では羽毛は使えない！

- 寒い冬に羽毛ふとんがなければ、、、



羽毛の天然素材機能を活用し、健康・安全・安心を確保しましょう！





とは？

使わなくなった羽毛製品を捨てずに三重県下社会福祉協議会へ持ち寄っていただくと、リサイクルされる上、赤い羽根共同募金へと変わるしくみです！

対象製品

全品目共通 ダウン率50%以上

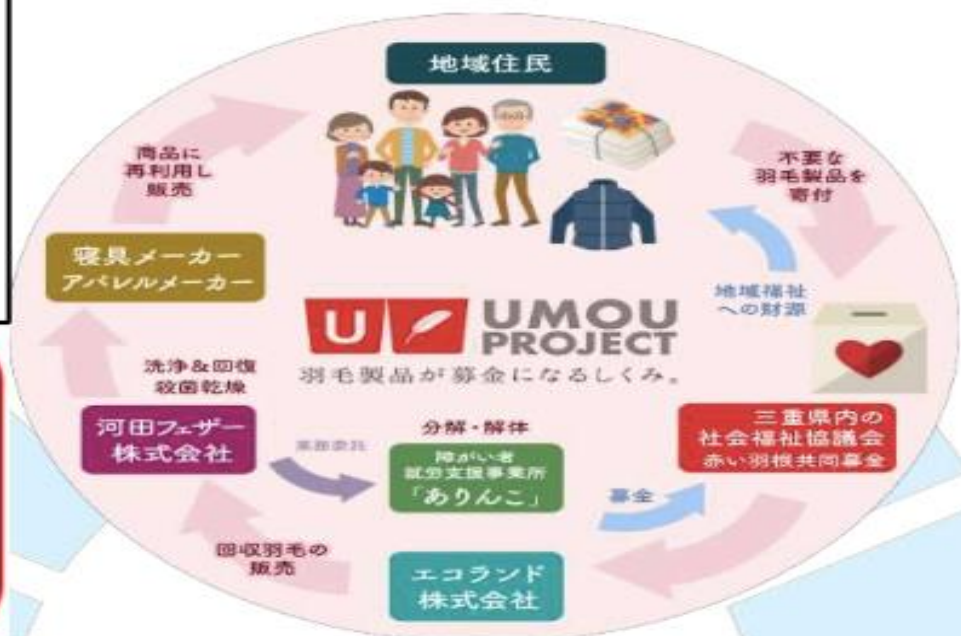
- ・羽毛ふとん (羽毛充填量1kg以上) 400円
- ・羽毛ふとん (羽毛充填量1kg以下) 100円
- ・ダウンジャケット 20円



「赤い羽根共同募金」とは

「赤い羽根」の愛称で親しまれる共同募金。昭和22年にスタートした共同募金運動は、長年にわたりたくさんの方々の寄付者の方々にご協力いただき、70年以上続けられている募金です。

「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ」として地域のさまざまな福祉活動を支援しています。







**UMOUプロジェクト**  
**UMOU災害支援**  
**プロジェクト**

UMOUプロジェクト津  
カーボンニュートラル協定  
UMOU災害支援プロジェクト寄付  
贈呈式  
伊勢12/27 371枚 115,460円  
志摩12/23 78枚 21,640円



12/8

三重県立明野高校

福祉課研修

UMOUPロジェクト明和





## パートナーシップで目標を達成

リサイクル羽毛の供給を行うという、画期的循環システム(=630を超える全国の自治体・行政及び企業・団体と連携し、効率良く羽毛を回収できる仕組み)と二酸化炭素削減モデルの構築を実現しました。



# 健康ウォーク (健康経営)



- 毎月1日 by伊勢神宮 4 ; 5 5  
外宮 (北御門に集合)

お伊勢さん健康ウォーク8000  
歩に挑戦

- 毎月15日 by二見・斎宮 (下御  
系) 健康ウォーク清掃活動

全国の#あしもとからと連携してい  
ます。

日本財団 海と日本プロジェクトに  
参加しています。





SDGs海賊キャンプin大王12/3海岸清掃  
12/4大王清掃センター軽トラック5台590kg  
を処分しました。

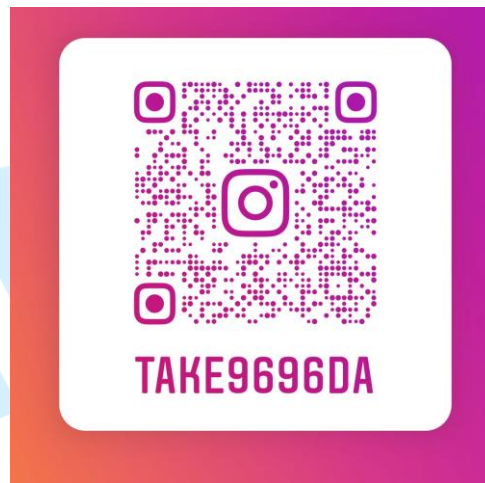


# SNSの友達に、、、

• Facebook Takeshi Kuroda



• インスタ





ご静聴 有難うございます。

